

特集



育てる



友田晶子の  
気になる

# 日本酒



「かがやき」はきき酒用語にもあるし、「はくたか」は、そんな名前の銘柄もすでにあるが……。停車駅ごとに人気の地酒を調べてみた。

新しい駅としては長野の次の飯山駅から。ここ長野最北の地にはみずみずしさと清らかさを持つ「水尾」(田中屋酒造店)がある。続いて新潟の上越妙高駅。新潟らしく清酒蔵が乱立しているからここはあえてどぶろく「卓」を挙げたい。私も審査のお手伝いをしたどぶろくフェスタにて大賞

受賞したブランドだ。次は糸魚川駅。

ここは「根知男山」(渡辺酒造店)だろう。全国にある男山のなかでも通好みの逸品。黒部宇奈月温泉駅は首都圏でも人気の「幻の瀧」(皇国晴酒造)。温泉につかって飲みたい。富山駅は「羽根屋」(富美菊酒造)。雑誌PENTで行った日本酒ミシユランで堂々1位に輝いた銘柄だ。新高岡駅には「勝駒」(清都酒造場)がある。東京の星付き和食店でも扱われている人気酒。終点金沢駅は、その名も「かがやき金沢 純米吟醸 純金箔入り」を発売する福光屋が鎮座ましましている。

地酒と駅弁でのんびり各駅酔っ払い旅とは違う、ぴゅっとひとつ跳び

北陸新幹線の開業が目前だ。

福井出身の私からすれば、「どうせ金沢どまり、関係ないわい」というイジケ気分で見ているが、あらためて停車駅と路線地図を眺めてみると、なんとまあ、地酒の産地がずらり出て来る。もしや北陸新幹線は、のんべえ新幹線、ともいえるのではないか。正式な列車名は最速の「かがやき」、続いて停車の多い「はくたか」、富山金沢間のシャトルタイプが「つるぎ」で、東京長野間は今まで通り「あさま」と呼ばれる。いつぞ「淡麗」とか「芳醇」とか「やまおろし」とか「ひやおろし」とか「あ

## 名酒の里を結ぶ北陸新幹線は、 のんべえ新幹線

「かがやき金沢 純米吟醸 純金箔入り」

500ml 1500円  
福光屋  
(化粧箱入、参考小売価格・税抜)  
TEL 076-231-2191



「羽根屋 純米吟醸 煌火くらび 生原酒」

720ml 1450円、1.8L 2880円  
富美菊酒造  
TEL 076-441-9594  
(全て税抜)



「水尾 純米吟醸」

720ml 1728円、1.8L 3456円  
田中屋酒造店  
TEL 0269-62-2057



の新幹線だが、列車ならではの旅情をかきたてられることに違いはない。ああ、旅に出たくなるね。そんな観光客をお迎えすべき沿線各地の飲食店、酒販店や酒造蔵、宿泊施設の方々

が、関係のない地域でも便乗イベントはいくらでも可能。北陸新幹線開通記念! 地酒飲み比べ&おつまみ食べ比べフェアなんか簡単にできちゃいますよ。